

寄附講座「抗加齢医学（新田ゼラチン）講座」の設置

## 高齢者の健康寿命延伸を支えるコラーゲンペプチドの臨床研究

抗加齢医学（新田ゼラチン）講座 教授

伊賀瀬 道也

「抗加齢医学講座」の主目的は、高齢者を中心とした健康寿命の延伸であり、特にフレイル※の予防に注力することです。本講座では、フレイル予防に向けた取組みとして、低分子コラーゲンペプチドの臨床研究を行います。コラーゲンペプチドを摂取すると、小腸で吸収、分解される際に、アミノ酸以外にアミノ酸が2つ結合した「ジペプチド」という状態でも血中を循環し、体内の各部位の細胞の働きを調整する命令を与えます。私たちはすでに低分子コラーゲンペプチドが血管の弾力性を改善するというデータを報告していますが、これ以外にも肌機能改善、血糖値改善、認知機能低下予防などの効果がありそうです。皆さんがご存知の「フグや豚の角煮を食べるとお肌がプルプルになる」という感覚が、科学として立証されつつあります。

今年度から5年ほどかけて抗加齢・予防医療センターを中心に臨床研究を行います。寄附元の新田ゼラチン株式会社は愛媛に起源をもつ大阪府の会社ですので、アンチエイジングを大きなテーマとする大阪万博も見据え、大阪での活動も展開していきたいと考えています。

※フレイルとは、加齢による衰え全般を指した言葉で、身体的、精神・心理的、社会的問題を含む言葉。



### PROFILE

いがせみちや©1991年愛媛大学医学部卒業。公立学校共済組合近畿中央病院循環器内科、愛媛大学大学院等を経て1999年愛媛大学老年科助手、2003年米国ウェイクフォレスト大学医学部留学、2011年より抗加齢・予防医療センター長。趣味は旅行、車、スイミング。